

地域おこし協力隊 活動記 Vol.117



岩木山で初雪が観測されました。山頂は雪で白くなり、中腹は紅葉で赤く色づき、麓はまだ緑で青々としている、この時期の岩木山が一番好きです。美しいですよ。同時に、冬が始まってしまふのだという実感（恐怖心）がわく時期でもあります。こんなにちは、協力隊の穂坂です。岩木山といえば、お山参詣!! 今年も大いに盛り上がりました。協力隊の取り組みとしては、青森大学の後藤ゼミを対象とした学生インターンを企画しました。祭り当日は、学生、計12名が参加し、幟旗・五色旗、カンナガラ御幣をあげたり、お供えものを運んだりしました。

相馬小学校と相馬中学校で出前授業をさせていただきました。相馬有志会の嶋



□昭男さんと三上敏彦さんを講師に、講話と実演をしました。「広報ひろさき10月号」の表紙は、中学校でのカンナガラ御幣づくりの実演会の際の写真が使われていました。皆さんお気づきになられましたかね。

出前授業に加えて、相馬地区青少年育成委員会と相馬こども会育成協議会との共催で「お山参詣『宵山』体験プログラム」を実施しました。お山参詣に参加してみたいけど、いきなり会員になるのはハードルが高いという子ども向けに、無料で参加する機会を提供するプログラム。これには相中生5名が来てくれました。

なにより嬉しかったのは、地元高校生の工藤君が初参加してくれたことです。「有志会に親や友達がいないて行きづらかったけど、協力隊の2人がいたから参加することができた」と言ってくれました。そんな彼は準備から当日までフル参加。メディア対応でも大活躍し、有志会から感



謝状が贈られました。

最後は個人的な話です。昔ながらの参拝をしてみました。山頂で御来光を拝む「朔日山」ですが、登頂したことを神に知らせるために、「ハジ今来たじゃ〜」と大きな声で言い（叫び）ながら、もつてきたカンナガラ御幣で岩木山神社の奥宮を叩きます。ヤバイ行為に見えますが、これは伝統的で正統な参拝方法です。ちなみに、ハジというのは岩木山の神の古名で、この神は耳が遠いのだそうです。だから、ハジの名を大声で叫ぶのです。伝統的な参拝方法だとはいえ、周りからの目もありますし、正直気が引けました。昔ながらのお山参詣で、水垢離と種時苗代での占いをやれていないので、再来年にトライしてみたいと思っています。

3年連続で参拝すると御利益があると言われているお山参詣。3年連続で参拝できました!! 今年めっちゃくちゃいい年になりそうです!! これも有志会の皆さんのおかげです。ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

